

平成29年度 奥田元宋・小由女美術館事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興、並びに地域文化の発展を図ることをめざし、次の事業を行いました。

総入館者数は、54,412人（平成28年度78,568人 増減24,156人減）となりました。

1. 展示事業

(1) 常設展示の充実 （常設展入館者数 3,139人）

ア 常設展示室では、所蔵作品、寄託作品を活用し、年4回の展示替を行い、常設展示の充実を図りました。

第1期展示 平成29年4月13日～平成29年7月11日

第2期展示 平成29年7月13日～平成29年10月10日

第3期展示 平成29年10月12日～平成29年12月29日

第4期展示 平成30年1月2日～平成30年3月31日

（全会期：平成30年1月2日～平成30年4月10日）

イ ギャラリートーク

満月夜間開館日に合わせ、午後3時から、学芸員による常設展示室内でギャラリートークを実施しました。（計16回 参加者総数 約460人）。

(2) 企画展の開催

ア 「一没後45年ー放浪の天才画家 山下清展」

（平成29年4月1日～4月17日 入館者数 9,108人）

（全会期 平成29年3月1日～4月17日）

《概要》

本展は、昭和に活動した画家・山下清の貼絵を中心とする作品約130点を紹介しました。ドラマなどで一般的に広く知られているイメージはフィクション性が強いことから、展示を通して実際の間人像および天才画家としての側面を知らせる内容として、作品とそれに付随する文献・解説が充実した構成となりました。

会期中、学芸員によるギャラリートークを4月初日から会期終了までに計2回実施、延べ約80人の参加を得ました。

イ 「奇々怪々！妖怪・おばけ浮世絵展」

（平成29年4月24日～6月11日 入館者数 9,406人）

《概要》

妖怪や幽霊などを描いた122点の浮世絵版画や肉筆画を展示し、江戸時代後期から明治初期にかけての妖怪ブームを振り返る内容となりました。葛飾北斎、歌川広重・豊国・国芳、月岡芳年などの著名な絵師たちによる作品を多数展示し、妖怪浮世絵の多彩な世界を紹介。また、三次市内に伝わる怪異譚「稲生物怪録」の絵巻や資料も併せて展示し、当館ならではの展示として地域文化の振興にも寄

与できました。

会期中、国際浮世絵学会常任理事の中右瑛氏によるギャラリートーク（5月7日）や当館館長による「稲生物怪録」の講演会（5月21日）、子ども向けの絵巻物づくりワークショップ（5月28日9名）などを開催し好評を得ました。学芸員によるギャラリートークは4月30日と6月4日の2回開催し、述べ約60人の参加を得ました。

- ウ「子どもたちに贈る三次の夏休み 広島県立歴史民俗資料館・三次商工会議所
ジョイント事業 『THE 世界名作劇場展～制作スタジオ・日本アニメーション
40年のしごと～』
（平成29年7月7日～8月20日 入館者数 13,121人）

《概要》

昭和50(1975)年に創立された制作スタジオ・日本アニメーションは、「フランダースの犬」や「赤毛のアン」などで知られる『世界名作劇場』シリーズ（全26作品）のほか、数々の人気作品を世に生み出しています。本展覧会では『世界名作劇場』シリーズを中心に、本展開催まで門外不出であった貴重な原画や資料、映像等約300点を一堂に公開しました。また、アニメーションの礎を築いた「職人」たちによる制作過程にスポットをあて、日本アニメーション40年の軌跡とともにご紹介しました。館内複数箇所に記念撮影コーナーを設けたり、人気キャラクター「ラスカル」の巨大バルーンをロビーに設置するなど、親しみやすい空間を演出しました。

会期中のイベントとして、記念撮影会「ラスカルがやってくる」を8月11日の午前10時、午後1時、午後3時の計3回実施し、各回35組の参加がありました。また、学芸員によるギャラリートークは7月16日と8月13日の2回開催し、述べ約70人の参加を得ました。

- エ「遠藤湖舟写真展「天空の美、地上の美。」～見つめることで「美」は姿を現す～」
（平成29年9月1日～11月5日 入館者数 9,253人）

《概要》

身近な自然の風景から「美をすくい取る」をテーマとする写真家・遠藤湖舟氏が撮影した写真の中から、天体の「月」「太陽」「星」から、身近な「草花」「昆虫」、そして水や花火の動きを時間の中に切り取った「ゆらぎ」シリーズ、さらには広島県内で撮り下ろした新作を含め100点を展示しました。遠藤湖舟氏の度重なる事前来館によるロケハンを通して展示計画を練り上へ、展示室以外にロビーや休憩室、屋外にも作品展示を広げることで美術館展示の新しい可能性を模索する機会にもなりました。

学芸員によるギャラリートークは9月16日（土）、10月14日（土）、11月4日（土）の計3回実施し（各回とも午後1時～／11月4日は遠藤湖舟氏も参加）、合計で約80人の参加がありました。

また、本展に出品された作品のうち、三次市内で撮影した《尾関紅》が展覧会

終了後、三次市へ寄贈されました。

オ「ウィリアム・モリス 原風景でたどるデザインの軌跡」

(平成 29 年 11 月 14 日～平成 30 年 1 月 8 日 入館者数 5,582 人)

《概要》

19 世紀のイギリスを代表する近代デザインの先駆者、ウィリアム・モリスが手がけたテキスタイルや壁紙、内装品類など当時の貴重な作品約 100 点を展示し、その軌跡をたどる展覧会として開催。モリスの活動の幅広さや独自の思想にも触れる機会となり、来館者にも満足いただける内容となりました。本展では新たな切り口として、モリスの活動の拠点となったイギリスの各地を写真家・織作峰子の写真を通して紹介。モリスの原風景を辿りながら創作の遍歴を紹介する内容となりました。

関連イベントとして、11 月 25 日には織作峰子氏を講師に迎えたギャラリートークを開催。12 月 3 日には尾道市の染色家・梅阪尚美氏を講師にカード織りを体験するワークショップを開催し、9 人の参加者となりました。学芸員によるギャラリートークは 12 月 10 日、1 月 7 日の 2 回開催し、述べ約 50 人の参加者を得ました。また、三次市内の保育園と連携し、園児が飾り付けたクリスマスリースを 12 月 23 日から 29 日にかけて館内に展示を行いました。

カ「日本画家・児玉希望 珠玉の小品展」

(平成 30 年 2 月 6 日～2 月 23 日 入館者数 694 人)

《概要》

奥田元宋の師としても知られる日本画家・児玉希望の小品を紹介するミニ企画展。平成 30 年度開催の「生誕 120 年 児玉希望展」の事前 PR を兼ねたプレ企画という位置づけで実施しました。児玉希望の郷里である安芸高田市高宮町在住の個人や、希望の遠縁にあたる三次市内の個人等から作品を拝借し、会場は 2 階の企画展示室 2 のみを使用して、計 20 点の多彩な作品を紹介しました。

会期中、学芸員によるギャラリートークを 2 月 10 日と 2 月 17 日の 2 回実施し、約 40 人の参加がありました。

キ「平田玉蘊 美の交遊」

(平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日 入館者数 4,109 人)

(全会期 平成 30 年 3 月 1 日～4 月 15 日)

《概要》

江戸時代後期に広島・尾道で活躍した女性画人・平田玉蘊は、京都で八田古秀に絵画を学び、伊藤若冲や南蘋派などの作風にも親しみながら、花鳥画・人物画・風景画と幅広く優れた作品を生み出しました。また、多くの文人とも親しく交遊し、確かな足跡を残しています。本展覧会では、玉蘊の再評価の機運が高まる中新たに発見された作品などを多数借用・展示するとともに、伊藤若冲、円山応挙をはじめとする関連作家の佳品もあわせて紹介しました。また、玉蘊との親しい

交流を示す頼山陽や菅茶山、田能村竹田らの作例など、計 82 点を公開しました。

会期中のイベントとして、3 月 24 日には広島女学院大学教授の三柵正典氏を講師に招き、「ぎょくおんさんの絵に親しもう！」と題したワークショップを開催し、20 人の参加者がありました。学芸員によるギャラリートークは 3 月 11 日、3 月 25 日、4 月 8 日の 3 回開催し、述べ約 80 人の参加者を得ました。

(3) 展覧会関連講演会、イベントの開催

ア「奇々怪々！妖怪・おばけ浮世絵展」関連事業

(ア) 特別ギャラリートーク「奇想天外 お化け浮世絵」

会場：奥田元宋・小由女美術館企画展示室

講師：中右英氏（国際浮世絵学会常任理事）

5 月 7 日（日）午後 2 時から開催。約 40 人の参加がありました。講師は本展出品作品のほぼすべてを所蔵する、国内有数の浮世絵コレクターであり、出品作それぞれの愛着あるエピソードや、歌舞伎、文学などの幅広い知見を交えた作品解説を通して、妖怪浮世絵の魅力について語っていただきました。

(イ) 記念講演会「稲生物怪録の世界」

会場：奥田元宋・小由女美術館ロビー

講師：植田千佳穂（当館館長）

5 月 21 日午後 2 時から開催。約 80 人の参加がありました。本展では当館独自の展示として、三次を舞台とした怪異譚「稲生物怪録」に関する絵巻・資料を展示しており、その独特の世界を紹介する講演会として開催しました。

(ウ) ワークショップ「妖怪絵巻をつくろう」

会場：奥田元宋・小由女美術館サブエントランス側ロビー

講師：三柵正典氏（美術家・広島女学院大学教授）

5 月 28 日午後 1 時から開催。9 人の参加となりました。子ども向けのワークショップとして、妖怪の登場する絵巻物を作る内容となりました。色紙の切れ端から発想を拡げ、参加者それぞれの自由なキャラクターが生まれ、楽しく制作することができました。

イ「子どもたちに贈る三次の夏休み 広島県立歴史民俗資料館・三次商工会議所

ジョイント事業 『THE 世界名作劇場展～制作スタジオ・日本アニメーション 40 年のしごと～』 関連事業

(ア) 記念撮影会「ラスカルがやってくる！」

会場：奥田元宋・小由女美術館ロビー

8 月 11 日（祝・金）午前 10 時～／午後 1 時～／午後 3 時～の 3 回、入館チケット購入者のうち希望者を対象に、ラスカルの着ぐるみと握手をして一緒に写真を撮るというイベントを実施。各回 35 組の参加を得ました。入館チケット購入の際に整理券を配付することで順番等に混乱が生じず、スムーズに進行することができました。

ウ「遠藤湖舟写真展「天空の美、地上の美。」～見つめることで「美」は姿を現す～」
関連事業

(ア) 特別ギャラリートーク 「遠藤湖舟 × 奥田元宋・小由女美術館」

会場：奥田元宋・小由女美術館企画展示室

講師：遠藤湖舟氏（写真家）・渡邊憲司（展覧会担当学芸員）

9月1日（金）午後1時30分～実施。約30人の参加がありました。遠藤氏の被写体への思い入れや撮影手法および建築と作品の共鳴を目指した展示方法について紹介。美術館の学芸員による奥田元宋・小由女美術館の建築の特徴などの説明と合わせて、美術館における写真展示の可能性についてもトークをしながら考察しました。

また、10月6日には、満月の時期に合わせて来館した遠藤湖舟氏によるギャラリートークを急遽実施、約30人の参加者がありました。

(イ) ワークショップ「美術館で天体観測」

会場：奥田元宋・小由女美術館ロビーまたは屋上庭園

①「天体望遠鏡を作って月を見よう」

日時：9月2日（土）17人参加・10月1日（日）23人参加

各日午後3時～5時

②「月と星を観測しよう」 ※天候次第で中止または内容変更あり

日時：9月30日（土）25人参加・10月28日（土）4人参加

各日午後4時～6時30分頃（通常開館日）

※10/28は天候不良につきロビーで科学講座

10月4日（水）約80人参加・11月4日（土）約80人参加

各日午後6時～7時頃（満月開館延長日）

講師：NPO法人 三次科学技術教育協会

月の写真を主要テーマとする遠藤湖舟氏と「月が美しく見える美術館」である当館にちなみ、実際の月を天体望遠鏡で観測する体験を通して月をより親しんでもらうイベントとして実施。三次科学技術教育協会との事前協議を経て「月の表面が見やすい日」および「満月の日」に日程を設定して行いました。また10月4日のイベント中には、三次科学技術教育協会・後藤邦昭氏と遠藤湖舟氏による天体トークショーを行いました。

(ウ) 遠藤湖舟の作品をイメージ「創作和菓子制作実演」

会場：奥田元宋・小由女美術館茶室『待月庵』およびロビー

11月4日（土）茶室『待月庵』にて午後5時～6時、11月5日（日）美術館ロビーにて午後1時～2時に、静岡県浜松市の和菓子老舗「巖邑堂」の5代目店主・内田弘守氏による、遠藤湖舟作品をイメージした創作和菓子制作の公開実演を実施。様々な道具を使用して月やゆらぎの世界観を和菓子で表現しました。作った和菓子は先着で見学者にプレゼントし、それを茶室での呈茶で召し上がっていただく事もできるようにしました。あわせて95人が見学しました。

エ「ウィリアム・モリス 原風景でたどるデザインの軌跡」関連事業

(ア)「織作峰子氏によるギャラリートーク」

会場：奥田元宋・小由女美術館企画展示室内

講師：織作峰子氏（大阪芸術大学教授 写真学科長）

11月25日午後2時から開催。展覧会ナビゲーターとして、モリスゆかりの地の写真を撮影してこられた写真家・織作峰子氏を講師として開催。現地への旅の思い出も交えながら、モリスの足跡をたどる内容でお話しいただき、約50人の参加を得ました。

(イ) ワークショップ「カード織りでブレスレットを作しましょう」

会場：奥田元宋・小由女美術館ロビー

講師：梅阪尚美氏（染色家・海色空色工房代表）

12月3日午後1時から開催。展覧会内容に関連して、手軽に織りを体験できるカード織りという技法を用いたブレスレットづくりを行いました。講師は尾道市向島町で活動されている染色家の梅阪氏を招へい。藍染の糸を材料とし手作りの良さに親しむ内容となりました。参加者は9人。

オ「平田玉蘊 美の交遊」関連事業

(ア) ワークショップ「ぎょくおんさんの絵に親しもう！」

会場：奥田元宋・小由女美術館ロビー

講師：三柵正典氏（広島女学院大学教授）

3月24日午後1時30分から開催。展覧会場にて平田玉蘊の描いた花や鳥の絵を鑑賞し、それぞれの感性で「自分の好きな花、鳥」を色紙に描いて、江戸時代の絵の世界を身近なものとしてお楽しみいただきました。講師の巧みな話術と手際良い進行により、参加者20人の満足度も高いものとなりました。

(4) 美術館ボランティア「OGS夢スタッフ」の活動状況

ア 登録総数 216人（延べ活動者数2,860人）

イ 活動内容 受付・監視、作品ガイド、環境・美化、発送作業、イベント補助、広報、呈茶（ボランティアニュース発行 月1回）

ウ 先進地視察 井原市立田中美術館、笠岡市立竹喬美術館、ワコーミュージアム
11月10日（金）、12日（日）の2回実施 参加者51人

エ 各企画展研修会の実施（企画展研修10回）

「奇々怪々！妖怪・おばけ浮世絵展」 2回

「思い出に残るあの名シーン THE 世界名作劇場展」 2回

「遠藤湖舟写真展 天空の美、地上の美。」 2回

「ウィリアム・モリス 原風景でたどるデザインの軌跡」 2回

「平田玉蘊 美の交遊」 2回

オ 「美術館ボランティア研修」の実施

2月22日（木） 講師：青木晃子氏、渡邊学芸員

2. 調査研究，収集保管事業

(1) 調査研究

奥田元宋の習作・スケッチ類の分類整理作業を継続中。

(2) 作品収集

引き続き作品購入・寄託受入の調整を行いました。

3. 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

各文化団体、児童・生徒の成果の発表の場として市民ギャラリーの活用を図りました。

(「8. 平成29年度市民ギャラリー等使用明細」参照)

主な利用としては、6月に開催された第44回みよし市民祭美術展、1月から2月にかけては、第16回墨親書展、第14回みよし文化祭美術展などが開催されました。

また、酒屋保育所の園児によるお茶会も昨年に続きお茶室を利用して開かれました。

(2) ロビーコンサート事業

月1回の満月日に地元三次市内等で活躍する個人や団体の発表の場として、年12回のロビーコンサートを実施するとともに、新たに「季節へのいざない トークコンサート」を4回開催し、延べ2,458人の集客を図りました。

(「9. 平成29年度満月ロビーコンサート実績」参照)

(3) 教育現場との連携

ア 鑑賞事業

三次市立小学校・中学校の団体鑑賞の受け入れを行いました。(11団体 374人)

(「10. 平成29年度 団体鑑賞受け入れ実績」参照)

イ ワークショップ

(ア) 「つみきでつくる トーテムポール」

会場および日時：奥田元宋・小由女美術館ロビー (6月11日)

吉舎生涯学習センター (6月25日)

君田生涯学習センター (7月9日)

講師：戸川幸一郎氏 (造形作家)

3会場にて実施。端材を再利用したつみきを使って、自分だけのトーテムポールを作って楽しむワークショップとして開催。述べ24名の参加を得ました。完成作品は「思い出に残るあの名シーン THE 世界名作劇場展」の会期中、3階多目的室前にて一般に鑑賞していただけるよう展示しました。

(4) 市民対象研修事業

講演会の開催

(ア) 講演会「生命讃歌—丸木スマの宇宙」

会場および日時：一宮市三岸節子記念美術館講堂 7月29日 14:00～15:30

講師：永井学芸員

一宮市三岸節子記念美術館で開催された特別展「丸木スマ展—おばあちゃん画家の夢」の関連イベントとして実施された講演会の講師を務めました。奥田元宋と同時代を生きた水墨画家・丸木位里の実母で、異色の日本画家として活躍した丸木スマの画業について、その天真爛漫な絵画世界を図版で示しながら紹介しました。聴講者は55人でした。

(イ) みよし なるほど！出前講座「日本画家奥田元宋・人形作家奥田小由女」

会場および日時：川西コミュニティセンター 11月21日 14:00～15:30

講師：吉川学芸員

川西自治連合会主催のシルバー学級講座の一環として実施。奥田元宋と奥田小由女の芸術と人生、および2人の作品を展示する奥田元宋・小由女美術館の活動を紹介しました。聴講者は18人でした。

4. 広報、宣伝活動事業

(1) 各企画展に伴う広報内容

企画展名	広報内容
没後45年 放浪の天才画家 山下清	中国新聞社（紙面広告）、中国放送（ラジオCM等）、その他雑誌・季刊誌での告知
奇々怪々！妖怪・おぼけ浮世絵展	中国新聞社（紙面広告・PR記事・作品紹介連載など）、毎日新聞社（地方面 展覧会紹介記事）中国放送（ラジオCM）、エフエムふくやま（電話出演）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他雑誌・季刊誌での告知
THE 世界名作劇場展 ～制作スタジオ・日本アニメーション40年のしごと～	中国新聞社（紙面広告・PR記事・作品紹介連載など）、広島テレビ（みよし観光研究所出演）、中国放送（ラジオCM）、エフエムふくやま（電話出演）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他雑誌・季刊誌での告知
遠藤湖舟写真展「天空の美、地上の美。」～見つめることで「美」は姿を現す～	中国新聞社（紙面広告・遠藤湖舟氏取材記事掲載・作品紹介連載など）、中国放送（ラジオCM）、NHK日曜美術アートシーン紹介、エフエムふくやま及びエフエムおのみち（電話出演）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、婦人画報9月号での企画記事。グランドプリンスホテル広島への宿泊パック企画連携、その他雑誌・季刊誌での告知

ウィリアム・モリス 原風景でたどるデザインの軌跡	中国新聞社（紙面広告・PR 記事・作品紹介連載など）、中国放送（ラジオ CM）、Grande ひろしま（展覧会紹介記事）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）、その他雑誌・季刊誌での告知
日本画家・児玉希望 珠玉の小品展	中国新聞社（PR 記事）、NHK エフエム東広島（生出演）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介など）
平田玉蘊 美の交遊	中国新聞社（紙面広告・PR 記事・作品紹介連載など）、中国放送（ラジオ CM・電話出演）、NHK 日曜美術アートシーン紹介、広島エフエム（電話出演）、エフエムふくやま（電話出演）、尾道エフエム（電話出演）、尾道ケーブルテレビ（生出演）、三次ケーブルビジョン（展覧会紹介、市役所ほっとニュースなど）、その他雑誌・季刊誌での告知

(2) その他広報、宣伝活動

ア 情報発信

美術館ホームページ・フェイスブック・ツイッター・まいぷれ三次による情報提供や、美術館ニュースNo.30号・No.31号の2号の発行を行いました。1回の発行部数は3,000部で、奥田元宋・小由女作品の紹介や企画展の紹介、ボランティア活動など幅広い美術館の情報をサポートメンバーや市内外の施設へ配布し広報活動を行いました。

イ 営業活動

各種団体や中四国及び九州や大阪の旅行業者を訪問し集客にむけてPRを図りました。併せて、備北交通株式会社との連携で、満月日の満月バスパック（出発：広島バスセンター）、直行便（広島バスセンター～美術館までの1往復）アートワインバスパック（乗車券と入館券のセット）も実施しており、お客様から好評をいただいています。県観光連盟主催の観光情報説明会や三次市の観光キャラバンにも積極的に出席し、平成20年度からの継続事業である、三次市観光客アップ事業の活用も行った集客を図りました。営業活動及び団体入場者等については「11.平成29年度団体入館者及び旅行会社明細表」のとおりです。

また、尾道松江線の全線開通3年目も継続して島根県内および県内の尾道、三原、福山、府中の公民館・コミュニティーセンター・交流センターへ企画展のポスター・チラシを送付しました。

市内への広報では、ポスター掲示について、これまで未掲示だったコンビニ店にお願いに行き、掲示していただくなど広範囲の広報活動を行い、集客を図りました。

5. 収益事業

(1) 美術関連品提供（ショップ）事業

ア 常設ショップ

元宋・小由女作品の関連商品等の販売や、三次市が行う、ふるさと納税寄付者に対する「お礼産品」の取扱を行いました。

（4月～3月までの売上額 2,929,774円）

イ 企画ショップ

平成29年度開催企画展において、企画展関連商品及びグッズの委託販売を実施しました。

（単位：円）

企画展名	売上額	手数料額
没後45年 放浪の天才画家 山下清展	2,871,147	394,978
奇々怪々！妖怪・おばけ浮世絵展	2,582,595	480,994
思い出に残るあの名シーン THE 世界名作劇場展	7,923,302	1,078,576
遠藤湖舟写真展『天空の美。地上の美。』	1,625,946	402,014
ウィリアム・モリス 原風景でたどるデザインの軌跡	4,696,356	897,295
平田玉蘊 美の交遊	524,408	104,881
合 計	20,223,754	3,358,738

(2) レストラン賃貸事業

美術館の魅力向上を図るため、レストランの食事と入館料をセットにした平日限定の「セット券」や「満月バスパック」などをPRするとともに、レストランも企画展にあったメニューを開発するなど連携した取り組みを行い、レストランの安定経営をサポートしながら賃貸借事業を行いました。

レストラン月別利用客数

月	人数	企画内容
4	1,699	山下清展 (4/1～4/16)
5	1,482	妖怪・おばけ浮世絵展 (4/24～6/11)
6	1,210	
7	1,446	世界名作劇場展 (7/7～8/20)
8	1,998	
9	1,329	遠藤湖周写真展 (9/1～11/5)
10	1,613	
11	1,758	ウィリアム・モリス展 (11/14～2018.1/8)
12	1,153	
1	1,074	
2	819	

3	1,745	平田玉蘊展 (3/1～3/31)
合計	17,326	

(3) 茶室運営事業

呈茶のサービスを通して、来館者の方々に「奥田元宋・小由女の世界」をより堪能していただくことを目的として実施しています。茶室運営協議会で企画展・常設展に合わせて呈茶サービスの実施に係る調整会議を実施し、子ども達の茶室利用促進を目的に、絵本展期間中は小学生以下を無料にするなどの取り組みを行いました。

平成29年度の呈茶実施状況は、次のとおりです。

呈茶実施状況 開催日数 64日 利用客数 延べ1,465人
協力流派数 5団体（裏千家・表千家・上田宗箇流・松蔭流・OGS夢スタッフ）

6. その他の事業（相互扶助等事業）

(1) 美術館サポートメンバー事業

奥田元宋・小由女美術館の魅力企画展や広報活動を通じて市内外に発信し、サポートメンバーの促進を図りました。

(平成29年度サポートメンバー加入状況)

法人会員 47社
一般特別会員 288人
一般会員 207人

7. 法人関係

評議員会、理事会を次のとおり開催しました。

(1) 平成29年5月24日(水) 10:00～

平成29年度第1回通常理事会開催（奥田元宋・小由女美術館 会議室）
平成28年度決算報告及び事業報告ほか

(2) 平成29年6月8日(木) 10:00～

平成29年度第1回定時評議員会開催（奥田元宋・小由女美術館 会議室）
平成28年度決算報告及び事業報告ほか

(3) 平成29年6月8日(木) 14:30～

平成29年度第1回臨時理事会開催（奥田元宋・小由女美術館 会議室）
公益財団法人奥田元宋・小由女美術館理事の選任についてほか

(4) 平成 29 年 11 月 24 日(金) 13:30～

平成 29 年度第 2 回通常理事会開催 (奥田元宋・小由女美術館 会議室)
平成 29 年度前期収支報告及び事業報告ほか

(5) 平成 30 年 3 月 8 日(木) 10:30～

平成 29 年度第 3 回通常理事会開催 (奥田元宋・小由女美術館 会議室)
平成 30 年度予算及び事業計画ほか

(6) 平成 30 年 3 月 23 日(金) 10:30～

平成 29 年度第 2 回定時評議員会開催 (奥田元宋・小由女美術館 会議室)
平成 30 年度予算及び事業計画ほか

8. 平成 29 年度市民ギャラリー等使用明細表

使用団体名	使用会場	使用目的	使用期間	備考
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	4/21 ～ 4/21	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	5/15 ～ 5/15	
三次組寺遺族婦人会	お茶室	会議	6/15 ～ 6/15	
三次市文化連盟三次支部	企画 1・市民ギャラリー	第 44 回みよし市民祭 美術展	6/21 ～ 6/25	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	6/28 ～ 6/28	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	7/18 ～ 7/18	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	9/14 ～ 9/14	
茶道裏千家淡交会三次支部	お茶室	記念大会	8/31 ～ 9/3	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	10/18 ～ 10/18	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	11/27 ～ 11/27	
上田宗箇流備北遠鐘クラブ	お茶室	会合	12/1 ～ 12/1	
茶道裏千家淡交会青年部	お茶室	お茶会	12/17 ～ 12/17	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	12/18 12/18	
奥田宗節ほか	お茶室	会議	1/11 ～ 1/11	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶会	1/20 ～ 1/20	
墨親会	多目的室	第 16 回墨親書展	1/19 ～ 1/22	
三次市立酒屋保育所	お茶室	お稽古	1/25 ～ 1/25	
三次市立酒屋保育所	お茶室	お茶会	1/27 ～ 1/27	
三次市文化連盟	企画 1・市民ギャラリー・多目的室	第 14 回みよし文化祭 美術展	1/27 ～ 2/4	
奥田宗節ほか	お茶室	お茶稽古	3/19 ～ 3/19	

9. 平成 29 年度満月ロビーコンサート実績

開催回及び日程	出演者	人数
第 170 回 4 月 11 日(火)	山下 雅也 (サクソフォン) 富永 やよい (ピアノ)	昼 : 125 人 夜 : 73 人 合計 : 198 人
第 171 回 5 月 11 日(木)	白柳 淳 (クラシックギター・ ピアノ)	昼 : 62 人 夜 : 70 人 合計 : 132 人
第 172 回 6 月 9 日(金)	藤永 麻未 (ソプラノ) 大城 要 (ピアノ)	昼 : 52 人 夜 : 100 人 合計 : 152 人
第 173 回 7 月 9 日(日)	大谷 麻美 (フルート) 酒井 貴美子 (ピアノ)	昼 : 120 人 夜 : 58 人 合計 : 178 人
第 174 回 8 月 8 日(火)	山本 京子 (サクソフォン) 中所 優子 (ピアノ)	昼 : 74 人 夜 : 120 人 合計 : 194 人
第 175 回 9 月 6 日(水)	北垣内 秀響 (箏・十七絃) 安達 秀環 (箏)	昼 : 85 人 夜 : 50 人 合計 : 135 人
第 176 回 10 月 4 日(水)	森 純子 (チェロ) 半田 文代 (ピアノ)	昼 : 86 人 夜 : 240 人 合計 : 326 人
第 177 回 10 月 6 日(金)	齋藤 愛 (ヴァイオリン) 木原 朋子 (箏)	昼 : 65 人 夜 : 75 人 合計 : 140 人
第 178 回 11 月 4 日(土)	奥野 純子 (ソプラノ) 三待 美早穂 (ソプラノ) 上森 佳枝 (ピアノ)	昼 : 105 人 夜 : 186 人 合計 : 291 人
第 179 回 12 月 4 日(月)	金岡 みゆき (ソプラノ) 木津田 真紀 (ピアノ)	昼 : 58 人 夜 : 66 人 合計 : 124 人
第 180 回 3 月 2 日(金)	庄原シティホールライブ楽団	昼 : 52 人 夜 : 68 人 合計 : 120 人
第 181 回 3 月 31 日(土)	山下 裕子 (ソプラノ) 藤中 亜希子 (フルート) 久保田 園子 (ピアノ)	昼 : 60 人 夜 : 139 人 合計 : 199 人
合計		昼 : 944 人 夜 : 1,245 人 合計 : 2,189 人

平成 29 年度新規事業「季節へのいざない トークコンサート」

(主催 奥田元宋・小由女美術館 共催ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト)

開催回及び日程	出演者	人数
第 1 回 5 月 28 日 (日)	伴谷 真知子 (ピアノ)	昼 1 回公演 95 人
第 2 回 9 月 24 日 (日) ※臨床美術	大西 恵美子 (臨床美術士) 濱本 実咲 (臨床美術士) 伴谷 麻依子 (ピアノ)	昼 1 回公演 44 人 (ワークショップ 24 人参加 コンサート 鑑賞 20 人)

第3回 12月24日(日)	伴谷 麻依子(ピアノ)	昼1回公演 60人
第4回 3月25日(日)	翁 優子(クラリネット) 伴谷 麻依子(ピアノ) 伴谷 真知子(ピアノ)	昼1回公演 70人
合計		269人

10. 平成29年度 団体鑑賞受け入れ実績(三次市立小学校・中学校)

	実施日	展覧会名	学校名	人数(人)
1	4月28日	企画展「妖怪・おばけ浮世絵展」	酒河小学校 全学年	154
2	7月7日	企画展「THE 世界名作劇場展」	和田小学校 1・2年生	25
3	7月11日	企画展「THE 世界名作劇場展」	川地小学校 1・2・5・6年	51
4	7月13日	企画展「THE 世界名作劇場展」	三次小学校 特支(1・4・5・6年)	8
5	7月19日	企画展「THE 世界名作劇場展」	田幸小学校 全学年	55
6	7月20日	企画展「THE 世界名作劇場展」	青河小学校 全学年	18
7	7月28日	企画展「THE 世界名作劇場展」	安田小学校 全学年	7
8	8月4日	企画展「THE 世界名作劇場展」	三和小学校 1・2学年	23
9	9月22日	企画展「遠藤湖舟写真展」	吉舎小学校 3年生	18
10	11月7日	常設展	塩町中学校 特支(1・3年)	4
11	2月28日	常設展	八幡小学校 3・4年生	10
合計				374

※ 市外を含む学校団体受け入れは、16件、514人

11. 平成29年度団体入館者及び旅行会社明細表

(平成29年度団体内訳)

	件数	人数	人員%	売上額	売上%	備考
旅行者	141	4,140	61%	3,284,800	68%	
一般団体	99	2,597	39%	1,515,660	32%	学校団体・無料福祉団体含む
合計	240	6,737	100%	4,800,460	100%	
前年計	280	7,378		4,588,890		

(平成 29 年度県別集計)

県別	件数 (一般・旅行会社の合計)	内旅行会社件数	合計(人)	売上額(円)
広島県	141	64	4,219	2,857,060
山口県	12	11	345	275,200
岡山県	25	23	715	538,900
鳥取県	4	4	74	58,500
島根県	39	24	893	694,100
愛媛県	6	6	107	82,400
香川県	5	5	119	96,200
高知県	1	1	16	12,800
愛知県	1	1	18	16,200
福岡県	1	1	7	5,600
中国ブロック	1		162	144,000
メキシコ	1		7	7,000
カナダ	1		14	0
中国	2	1	41	12,500
合計	240	141	6,737	4,800,460

(満月バスパック参加状況)

実施日	参加数(人)	備考
4月11日	7	
5月11日	1	
6月9日	10	
7月9日	8	
8月8日	2	
9月6日	11	
10月4日	44	チャーター
10月6日	12	
11月4日	33	
12月4日	25	
3月2日	8	
3月31日	25	
合計	186	
前年	220	

備北交通との連携で、満月バスパックのほか広島バスセンターから美術館へ直行便(1往復)も運行。

また、広島三次ワイナリーと連携したアートワインバスパックもあり、平成 29 年度は 174 名利用。

(平成 29 年度旅行会社取扱い送客人数 (上位 5 社))

	旅行会社名	件数	件数%	人数	人数%	売上額	売上%	備考
1	愛トラベル	16	11%	529	13%	608,400	19%	
2	農協観光	14	10%	325	8%	238,500	7%	J A 旅行センター含む
3	防長トラベル	4	3%	295	7%	176,600	5%	
4	阪急交通社	1	1%	217	5%	142,800	6%	
5	岩見観光グループ	7	5%	198	5%	157,500	4%	
1-5 の合計		42	30%	1,564	38%	1,323,800	40%	
取扱旅行会社計		141	100%	4,140	100%	3,284,800	100%	

平成29年度 三良坂平和美術館事業報告

1 展示事業

(1) 常設展

柿手春三作品を展示しました。

(単位:人)

	名 称	会 期	入館者数
1	I 期 柿手とその仲間 (東京編)	4月1日～7月9日	1, 668
2	II 期 柿手とその仲間 (広島編)	8月5日～9月10日	739
3	III 期 柿手のスケッチブック Vol 1	9月14日～12月24日	4, 122
4	IV 期 柿手のスケッチブック Vol 2	1月4日～3月25日	1, 554
	合計		8, 083

(2) 企画展

(単位:人)

	名 称	会 期	入館者数
1	県北アートシーン 27th	4月1日～4月23日	864
2	久保田辰男絵画展 —ふるさと・牛歩の50年—	4月29日～6月4日	596
3	明日への輝き 31回平和展 (前期)	6月10日～7月9日	207
	明日への輝き 31回平和展 平和の灯ろうコンテスト作品展	7月14日～7月30日	429
	明日への輝き 31回平和展 (後期)	8月5日～9月10日	341
4	はしもとみお彫刻展	9月16日～11月5日	2, 647
5	三江線写真展	1月6日～3月25日	1, 520
	合計		6, 604

□平成29年度入館者数 8, 548 人

(平成28年度 6, 680人 増減1, 868人増)

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

町内中学生文化祭作品展・町内文化祭作品展や市民の作品展示場として提供しました。

(単位:人)

	名 称	会 期	入館者数
1	三良坂町民文化祭	10月31日～11月5日	482
2	ありのまんま展	11月10日～12月3日	424
3	三次市人権週間ハートイラスト展	12月6日～12月24日	68
	合計		974

(2) 地域連携事業

① 鑑賞事業

展示作品の鑑賞を通して、児童生徒・園児や地域の方々に美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらいました。

(単位：人)

	名 称	期 日	利用団体	入館者数
1	平和の灯ろうコンテスト 作品展	7月14日～7月30日	三次相扶園 のぞみ苑・みら屋 三良坂デイサービス こじか荘・慈照園 たすく・岡崎病院	265
2	三良坂中学校職場体験	7月31日～8月4日	三良坂中学校2年生	のべ24
3	はしもとみお彫刻展	11月2日 11月19日 10月25・26・27日	三良坂保育所年長 こじか荘 三良坂デイサービス	26 19 50
4	ありのまんま展	11月24日 12月5日(特別に)	三良坂小学校2年生 十日市自治振興区	26 50
	合計			460

② ワークショップ事業

実際の作品作りを通して地域の方々に美術に親しみ、関心を深めてもらう。

(単位：人)

	名 称	会 期	講 師	参加者数
1	ペンで描く野の花	5月14日	久保田辰男	10
2	出張工作教室(祇園祭にて) ワー素敵! わたしだけのミニグリーン	7月8日	美術館職員	約30
3	木彫に挑戦!	9月16日	はしもとみお	15
4	アートセラピーで心の大掃除	11月12日	石合鶴英	4
	合計			約59

③ 「第5回平和の灯ろうコンテスト」～参加型平和への取組～

(三次市(地域振興課)と共同主催)

広島市平和記念公園へ手向けられた「折り鶴」を「ちぎり絵」などに活用することで、広く平和祈念の機運を高めることを目的に「平和の灯ろうコンテスト」開催。三次市地域振興課ひとづくり係と連携して作品を募集し、展示しました。

○受賞結果

	幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部
大賞	三次市立甲奴 保育所	三次市立三良坂 小学校	三次市立作木中 学校	デイサービスセンター安 芸
優秀賞	三次市立敷地 保育所	三次市立和田小 学校	三次市立八次中 学校美術部3年	新開いきいきサロン
特別賞	三次市立川地 保育所	三次市立川地小 学校	三次市立甲奴中 学校	社会福祉法人白寿会

○応募数 (個人・団体合わせて)

幼児の部94点 小学生の部148点 中学生の部166点 一般の部677点
合計699点

平成29年度 美術館あーとあい・きさ及び吉舎歴史民俗資料館事業報告

I 美術館あーとあい・きさ事業

1 展示事業

(1) 常設展

三次市吉舎町出身の奥田元宋、奥田小由女の作品を通年展示する。

(2) 企画展

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	郷土作家シリーズ⑨ 郷土でつながる巴展	4月1日～4月23日	394
2	久保田辰男絵画展	4月29日～6月4日	503
3	吉井章・早智子展	6月11日～7月9日	458
4	第5回新県美展巡回展	7月19日～7月23日	255
5	第12回広島県日本画協会小品展	7月30日～8月27日	607
6	岡原大崋・日本画展	10月8日～11月5日	736
7	第14回広島日展会総合小品展	11月12日～12月10日	430
8	コレクション展Ⅰ	12月30日～1月10日	131
9	コレクション展Ⅱ	3月3日～3月14日	88
10	郷土作家シリーズ⑩	3月18日～3月31日	283
合 計			3,885

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

町内園児・小・中・高作品展や市民の作品展示場として提供する。

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	夢キャラ作品展	9月5日～9月30日	469
2	吉舎町内園児・児童生徒美術作品展	1月16日～2月28日	551
合 計			1,020

□平成29年度 美術館あーとあい・きさ 総入館者数 4,905人
(平成28年度総入館者数 3,581人 増減1,324人増)

(2) 地域連携事業

① 鑑賞事業

著名な作家などによる美術作品を通して、児童生徒や地域住民などに、芸術並びに文化への理解と関心を深めてもらう機会を提供する。

(団体鑑賞受入れ実績) (単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎小3年生)	6月6日、13日	31
2	美術作品鑑賞と施設見学(三良坂中)	8月2日	5
3	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎中陸上部)	9月23日	11
4	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎中)	9月26日	28
5	美術作品鑑賞と施設見学(日彰館高校運動部)	9月30日	15
6	美術作品鑑賞と施設見学(庄原子ども美術館)	11月11日	16
7	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎保育所)	平成30年1月18日	32
8	美術作品鑑賞と施設見学(吉舎保育所)	平成30年3月30日	11
合 計			149

② ワークショップ事業

(単位：人)

	名 称	会 期	講 師	参加者数
1	絵画教室「夏をテーマに描いてみよう」	7月30日	日本画協会会員	16

(3) 中学生職場体験受入れ

2名

II 吉舎歴史民俗資料館事業

1 展示事業

(1) 常設展

三次市吉舎町の豊かな歴史文化と伝統を背景とした貴重な遺物や資料等を通年展示する。

- ・ 県史跡三玉大塚古墳出土品
- ・ 南天山城跡出土品、
- ・ 和智氏関係資料
- ・ 昔の農家（囲炉裏等による再現）
- ・ 民具・農機具等を展示

(2) 企画展

(単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	写真で見る「古里のくらし今昔」	4月1日～9月30日	195
2	むかしの農村風景ミニチュア展	10月8日～3月31日	471
合 計			666

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

町内園児・小・中・高作品展や市民の作品展示場として提供する。

(2) 地域連携事業

① 鑑賞事業

先人の知恵と工夫が生み出した歴史遺産、民俗資料等の鑑賞を通して、児童生徒や地域住民などに、芸術並びに歴史文化への理解と関心を深めてもらう機会を提供する。

・歴史資料、農具・民具などの鑑賞と散策学習

(団体鑑賞受入れ実績) (単位：人)

	名 称	会 期	入館者数
1	県史跡三玉大塚古墳学習会(吉舎小6年生)	5月23日	25
2	資料館見学(國學院大學)	8月5日	31
3	昔の道具・暮らしについての学習 (安田小3・4年生)	平成30年2月9日	4
4	〃 (八幡小3・4年生)	平成30年2月13日	12
5	〃 (青河小3・4年生)	平成30年2月23日	4
6	山陽新聞旅行社募集ツアー (銀山街道ゆかりの地 三次、吉舎を訪ねる)	平成30年3月31日	93
合 計			169

② ワークショップ事業

(単位：人)

	名 称	会 期	講 師	参加者数
1	「飛び出す絵」カード作り	8月6日	青木晃子	4

■平成29年度 美術館あーとあい・きさ並びに吉舎歴史民俗資料館
合計入館者数 5,571人(平成28年度 3,581人 増減1,990人増)